



山本合名会社 六代目蔵元 山本 友文

挑戦の先に、 新たな活路が 見えてくる

銘酒「白瀑(しらたき)」の愛称で親しまれる山本合名会社。日本海と世界自然遺産・白神山地を望む八峰町八森の地で創業114年の歴史を刻む。しかし、一時期は経営難でどん底だった。それが今や、こだわりの酒を次々に発表し、県内外で注目される存在に。その立役者が現社長で六代目蔵元の山本友文さんだ。

固定概念にとらわれない発想

山本合名会社が仕込みをはじめとする全ての工程に使用する水は、白神山地の恵みである天然水。その天然水を直接蔵まで引き込んでいる。

こうした水に恵まれた環境もさることながら、2007年に杜氏制を廃止し、経営者である蔵元自らが醸造責任者として酒を造るという方針に変えて以後、商品の幅を広げて話題を呼んでいる。蔵の名であり、自らの名を冠したブランド「山本」シリーズや、にごり酒「ど」シリーズ、青色の純米吟醸生酒「白瀑ブルーハワイ」など、素材、品質、インパクトにこだわった酒を次々に発表し、全国の地酒ファンを唸らせる。同社の生産量は、2007年以前と比較して3倍に。蔵人も増え、20代、30代の若手も加わった。

蔵内に流れるBGMはビートルズ。照明もカラフル

で洒落ている。「蔵というと暗く静まり返ったイメージ。それを、音楽や照明などで明るくし、蔵人の気持ちを盛り立てようと。そうすることで、みんなで気軽に意見を言い合える雰囲気を作っている」と山本社長。固定概念にとらわれない発想については「自分はもともと外にいた人間だから浮かぶ」と話す。実は、かつては音楽業界に身を置いていた。「一生、音楽関係だと思っていた。まさか酒蔵で働くとは思いませんでした」

どん底からのスタート

同社は、1960年代後半に全国に先駆けて大吟醸酒を商品化。県外の料亭に提供して好評を得るなど、その名を轟かせていた。

「社長は私の父の兄。つまり伯父が社長で、父は工場長だった」という。しかし、伯父の息子(いとこ)で、

次期蔵元だった専務が病で亡くなり、伯父も後を追うように急逝。急遽、工場長だった父が社長になった。2002年に次期蔵元として東京から呼び戻されたのが今の山本社長である。

高校卒業後、単身アメリカに渡り、現地の大学で機械工学を学んだ。その後、東京で音楽プロダクションに入社。アーティストのマネジメントやコンサート制作に携わり、国内外を飛び回る忙しい日々だった。

地元に戻った当時、10年間で3回もトップが代わったこと等で蔵の売り上げは大幅に落ちていた。さらに、ビールやワインに押され、日本酒の消費自体が激減していた。2005年には、ベテラン杜氏が引退。その後、新しい杜氏を迎え、必死の営業活動も行ったが、起死回生とはならなかった。

どん底の経営状態で追い詰められ、「ならば…」と挑戦したのが、杜氏制を廃止し、蔵人みんなで酒造りに挑む現在のスタイルだった。基礎を一から勉強し、自分たちの酒造りを模索。秋田県総合食品研究センター・醸造試験場酒類グループの支援、他の蔵の先輩の励ましのもと、1年目から出荷に成功。また、「酒造りの本質を探りたい」と、蔵元自ら酒米を育て始めた。農機具の扱いは専攻が機械工学ゆえにお手ものだ。

酒造りは地方でこそ輝ける

こうした改革の裏には苦悩もあった。酒蔵という伝統社会の中で蔵全体の意識を変えることは容易ではなかった。そんな時、よき相談相手、よき刺激となったのが、同じく後継者として活躍する仲間たちだ。2010年に立ち上げた「NEXT5」は、自ら酒造りを行う秋田県内の5人の若手蔵元で結成したグループ。共同醸造プロジェクトやイベント開催のほか、蔵を見学し合い技術向上に努めるなど、秋田の日本酒シーンを盛り上げている。

さらに、近年は世の日本酒への見方が変わり、若者や海外に日本酒ファンが急増している。この日本酒ブームは最高の追い風だ。ここ数年は、海外にも積極的に営業に出向き「今後は経済発展著しい東南アジアを狙いたい」と目を輝かせる。

「さまざまな産業が都会を中心に発展する中、酒造りは地方こそ有利。自然や文化を活かし、個性ある商品を作ることができる」と語る。これからの方針は、「大量生産はせず、さらに品質に磨きをかけてブランド力を高めたい。ここで働く人間が、誇りや夢、希望を持って楽しく働けるように。そしていつか、地元から酒米を買い、地域の農業を支えられる存在になりたい」と熱を込める。B



- A 個性豊かな酒で地酒ファンの注目を集める、山本合名会社の商品ラインナップ。
- B 蔵のあちらこちらに飾っているのは、ビートルズのアートポスター。
- C コンピューター管理された麹室での作業。
- D 日本海を望む棚田で米作りを行う山本社長。
- E 自らコンバインに乗り、稲刈りを行っている。



山本合名会社

〒018-2678 秋田県山本郡八峰町八森字八森269
Tel.0185-77-2311 Fax.0185-77-2312
http://www.shirataki.net

- 創業/明治34年
- 従業員/12人
- 資本金/7,000万円
- 事業内容/清酒の製造